

ひとが輝くまちづくり 彩り豊かな仙台の未来へ



—令和7年度施政方針から



仙台市長
郡 和子

まちの中心はひと。ひとが輝くことでまちは躍動し、多くの人を惹きつける。市長就任からの変わらぬ思いです。人口減少が進む東北の現状に風穴を開け、社会の閉塞感に立ち向かうには、従来の制度や仕組みにとらわれない、自由で創造的なチャレンジが必要です。性別、年齢、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍し、多様な発想が掛け合わせられ、イノベーションにあふれる、「仙台に暮らしてよかった」と思えるまちづくりを進めます。

このまちの未来を担うのは子どもや若者です。小・中学校一貫の英語を核とした新たな教科の設置や、西公園への屋内遊び場の整備に着手します。また、令和8年度から子ども医療費助成の一部負担金を廃止し、対象を18歳まで拡充するなど、「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に力を尽くします。

学都の知の力を生かし、スタートアップを新たな成長エンジンにするため、海外を見据えたワンス

リングや複数の教員が学級担任を担うチーム担任制を導入します。

ひとが輝く舞台となるまち

「新たな仙台観光」を目指し、秋保大滝展望台の整備や、海外プロモーション、大河ドラマの誘致に取り組みます。また、大阪・関西万博に東北絆まつりを出展するほか、7月に開館する仙台市アリーナをPRし、スポーツなどのイベントを誘致します。

多様な人材が能力を発揮できるダイバーシティ経営の支援や、ジエンダード・イノベーションに取り組みとともに、産業用地整備に向けた基本戦略の策定、台湾企業とのビジネス機会の創出を図ります。また、「稼げる都市農業」の実現に向けて、アグリ経営アドバイザーの派遣などを行い、生産性・収益性向上につなげます。

地域の魅力創出に向け、本庁舎建て替えや定禅寺通、勾当台公園の再整備、都心再構築プロジェクトを進めるほか、一番町四丁目商店街での夜間集客イベントにより、にぎわいづくりに取り組めます。

脱炭素先行地域として、既存建築物の省エネ・ZEB化を支援するとともに、新築建築物への太陽光パネル設置などの制度化を進めます。

トップ窓口の開設や、共創と協業の場となるウェットラボの整備などを進めます。また、防災環境都市づくりやスマートシティの取り組みの世界に向けた発信、国際会議の誘致などにより、本市の都市ブランドを強化していきます。

来訪者の心が躍り、市民も楽しめる「観光都市」を目指し、「仙台市観光戦略2027」に基づき、漫画・アニメやスポーツ、震災復興など、新たな観点からのツーリズムを創り出すとともに、思い切った規制緩和も視野に入れながら、宿泊税を最大限活用し、攻めの観光に取り組めます。

「仙台はじまりの地」青葉山エリアでは、令和18年の仙台城大手門復元に向け、基本構想を策定するほか、世界に誇る音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設的设计を進めます。

「ちがいが」が尊重され、多彩な考えや才能が出会うことで新たな価値を生む。全ての人が安心して住み続け、活躍できる仙台らしいダイバーシティの推進により、「世界から選ばれるまち」を目指します。

多様なひとの力が生きるまち

ダイバーシティ推進指針を本市施策に織り込むとともに、市民への周知啓発を図っていきます。ま



戸籍住民課窓口における多言語対応を強化するなど、外国人が暮らしやすい環境の整備に取り組みます

た、外国人の住民登録の特設窓口の設置や、生活環境に関する全数調査を実施します。

さまざまな人が生き生きと暮らし、地域の担い手としても活躍できるように、高齢者のボランティア活動などに応じて市内の店舗などで使用できるポイントを付与するアクティブシニア・ボランティアポイント制度を開始するほか、敬老乗車証が利用できる交通機関拡大に向けた実証実験を行います。

安心して暮らせる地域社会の実現に向け、高齢者や障害者など避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成や、総合防災情報の音声読み上げアプリの導入を進めます。

精神科治療中断者に医師などがチームでアウトリーチ支援をするほか、ひきこもりの方に心理職によるカウンセリングを行います。ヤングケアラーについて、認知度向上に向けた啓発や、家事などの代替サービスの提供を実施します。重度障害児者施設の開設費補助の拡充や、医療的ケアが必要な方を対象とした非常用電源の購入費

の補助を行うほか、認知症の方と家族が希望を持って暮らせるような支援体制を構築します。

こどもたちが健やかに育つまち

就労要件を問わず利用できる保育施設などを拡充するとともに、SNSを活用した子育て情報の発信や、育児に不安を抱える世帯への育児ヘルパーの派遣を行います。こどもたちが安心して育つ環境づくりに向けて、こども食堂をはじめとする多様な居場所づくりを進めます。また、始業前に学校施設で学びや体験活動ができる居場所を開設するモデル事業に取り組みほか、仙台こども財団と連携し、「こどもいけん広場」を実施します。また、いじめ対策支援員を拡充するとともに、在籍学級外教室「ステーション」の設置校を小・中学校ともに拡大します。

児童生徒一人一人に合った教育活動ができるよう、部活動の地域移行や学校版BPRに取り組むほか、教職員向けの巡回型カウンセ



子育てや健康に役立つ情報の紹介や、親子で楽しめるワークショップなどを行う「みんな子育てフェスタ&健康フォーラム」



東部沿岸エリアの民間施設に太陽光パネルを設置するなど、脱炭素先行地域づくりを進めています

開園150周年を迎える西公園記念事業を実施するとともに、海浜エリアでは周遊イベントを開催します。長町地区における歩いて楽しい街並み形成や、泉区役所建て替えを契機とした泉中央地区の活性化についても検討を進めます。

安全・安心の確保においては、長町一利府線断層帯地震による火災防止に向けた取り組みを始めるほか、マンホールトイレの整備などにより、避難所における環境改善を進めます。また、救急搬送の増加に対応し、受入病床を確保するため、市内病院間の連携を強化するとともに、救急隊から伝達する情報のデジタル化により、搬送時間の短縮を図ります。



このほか、南仙台駅における改札口増設に向けた調査や、地下鉄におけるクレジットカードのタッチ決済導入を進めます。

◆ 先人が培ってきた仙台の歴史、文化を誇りとし、多様な人の力を掛け合わせながら、彩り豊かな仙台の未来につなげてまいります。